

第 14 回 船橋市交通ビッグデータ見える化協議会 議事概要

○開催日時：令和 7 年 2 月 6 日（木）10：00～11：30

○開催場所：船橋市役所 6 階 602 会議室

○概要

これまでの協議会の開催状況や対策進捗と効果検証結果、市全体のモニタリング結果について説明し、意見交換を行った。以下に各議題における主な意見等を記す。

○議題 1 これまでの協議会の開催状況・対策進捗と効果検証結果

【意見】

- ・ 東海神駅入口交差点の効果検証にコンター図を載せているが、ETC2.0 プローブ情報から分析をしているのであれば、中野木地区の効果検証のように具体的な数値を示しピーク時間の割合など見える化ができると分かりやすい。
- ・ 中野木地区の速度状況については、低下している状況を統計的に検証できると好ましい。
また、交通量の変化状況も併せて整理できることが好ましい。
ETC2.0 プローブ情報を使用しているのであれば、起点・終点部から 500m のデータはカットされるため、域外からの通過交通であることが考えられるので、その交通が対策前後で変化しているのか把握できると考えられる。さらに、通過経路が変わっているのかも見れることが好ましい。
- ・ 中野木地区の事故発生状況について、エリア内の事故は減少しているが、入口部での事故はまだ残っているので、今後モニタリングしながら対策検討してもらいたい。
事故件数についてはポアソン検定を行い確率的にどうなのか検証してもらいたい。
また、通過交通の他にも急減速の発生状況も整理できるといい。入口部の事故についてはどのような事故か詳細分析してもらえれば、追加対策に繋がれると考えられる。
信号現示について、スプリットや青時間比率、サイクル長の変化も教えてもらいたい。
旅行速度については、10km/h 未満が減り速度が向上しているため効果があったと捉えられる。
- ・ 東海神駅入口交差点の今後の対策として、西側の横断歩道について、左折導流路と交通島の組み合わせで前出しできると考えられる。
東西方向の停止線間が長いと全赤時間も長くなり、制御効率が悪くなるため、交差部分の面積を小さくして信号制御の自由度を上げる工夫をしてもらいたい。

○議題 2 船橋市全体の交通状況のモニタリング結果

【意見】

- ・ 船橋市市内のサンプル数がカバーできている路線が増えている様子が分かると好ましい。
- ・ 市内の中でも著しく悪くなっている箇所や著しく改善した箇所が把握できると、要因把握や今後の検討に活用できると考えられる。
- ・ サンプル数については、ETC2.0 というものが高速道路を通過するために運用するという認識が強いが、現在では ITS スポットは高速道路上より一般道の方が多いと認識している。そのため、

船橋市がサンプル数を経年変化で整理して示すことで、他の自治体もデータを使用するきっかけなると考えられる。

- ・ 市内全体を俯瞰するということも重要だが、ボトルネック箇所を整理して、千葉国道事務所が主要渋滞箇所を選定する際の指標を用いて検証してみることで焦点を当てた分析ができると考えられる。
- ・ 平日の旅行速度において、交通需要が集中する橋梁部である船橋橋付近の速度低下は致し方ないと考えられるが、一方で、同箇所と湊町 2 丁目交差点がサブエリアの切れ目になっており、その影響もあるかも知れないので確認してもらいたい。
- ・ 船橋駅北口十字路交差点の南側について、信号制御をする上で停止線間距離を短くすることで、自由度が上がるため、停止線の前出しを検討してもらいたい。
- ・ 若松交差点について、南側に千葉船橋海浜線があり国道 357 号と平行している道路であり、国道 357 号の渋滞を避けていた車両が若松交差点で合流するため、速度低下が発生しているのではないかと考えられる。

船橋我孫子線の交通容量不足に対して改良要望があるのは認識しているため、引き続き検討していきたいと考えている。

- ・ 若松交差点が改良されて処理能力が上がった場合、交通状況は変わるがボトルネック箇所が北側に移動すると予想されるため、引き続き検討が必要になる。また、一般的に交差点の処理能力が数パーセント上がるだけで旅行速度が数割変わり、時間損失は倍半分変わってくるので、幾何構造と信号制御の両面で改善すると相当な効果が得られると考えられる。
- ・ 全体を通して渋滞箇所の提示だけでなく、理由や要因も含めて整理していると次の検討に繋がりがやすくなり、この場で議論することで協議体としての価値があると考えられる。

○今後の予定

- ・ 今年度は今回の協議会で終了となり、次年度も交通円滑化、交通安全対策検討を実施する予定である
- ・ 次年度の協議会の日程については後日連絡する。
- ・ 後日ホームページにて、議事概要と資料を公表させていただく。
- ・ 現在、JR 津田沼駅北口の無信号横断歩道部に、歩行者が渡ろうとする際、点滅ライトを通じて運転者に知らせる RRFB(Rectangular Rapid Flashing Beacons：角型閃光式警告灯)を設置中であり、どのような効果があるか社会実験中である。

以上

【実施風景】

